

見て・聞いて・
学んで実践!



視察レポート



3常任委員会と議会運営委員会
では、他市のさまざまな先進事例、
施策等の視察を行っており、市へ
事例等を紹介したりするなど市政
の発展に役立てています。



子どもたちの大切な居場所となっている

総務文教
常任委員会

NPO法人「子どもの里」(写真①)は、さまざまな困難を抱えた子どもたちに寄り添い活動する「子どもの居場所」である。「ひとりでない」「貧困と虐待を一緒に考え、子どもと親にしっかりと寄り添うことが大切」など考えさせられる視察であった。

広島平和記念資料館(写真②③)の視察を
中心に、本市で平成20年から行われている「広島
平和記念式典派遣事業」と同じ行程で視察を行つ
た。今後も事業の継続により、被爆体験講話な
ど実際に現地に行つて直接見る「聞く」考える
そして「伝えていく」ことを期待する。

広島県呉市では、地域住民が誇りを持ち安心
して生活できる地域とするため「地域協働型」の
まちづくりを推進している。本市においては、活
動中である「地域支え合い活動」など地域と密着
した協働の向上を目指し、住みやすい燕市にして
いきたい。

市民厚生
常任委員会

兵庫県加東市(写真④)では、
本市と同様に手話に関する条例を
制定しており、市独自の講座の開
催やさまざまな施策を展開してい
る。講座等を受講し手話を学んだ
参加者から、1回限りではなく継続して取り組ん
でもらうことが課題とのことだった。

京都府亀岡市は、マイナンバーカードを活用
して、クレジットカード会社等から発行されたポ
イントを自治体ポイントに交換し、地域の商店
などで使用できる事業を行っている。各自治体の
取り組みを参考に、本市においてもカードの交付
促進を進めていく必要があると感じた。

大阪府松原市のふれあい収集(ごみ出し支援)
事業は、収集場所までごみを出せない高齢者又
は身体の不自由な一人暮らし世帯を対象に玄関先
まで収集に伺うものである。高齢者世帯のごみ回
収がスムーズになったほか、鳥獣被害防止などの
効果があるという。

産業建設
常任委員会

太田川河川事務所(写真⑤)
⑥⑦において、約50年前に完成し、
利水や治水などの役割を果たして
いる太田川放水路を視察した。本
市においては、現在拡張工事を行っ
ている大河津分水路があり、参考にしていきたい。

広島県江田島市では、新しい農業としてオ
リーブ栽培に取り組んでいるのではなく、耕作放
棄地の解消に重点を置いており、「江田島オリ
ブ」としてブランド化に取り組んでいる。「ブラ
ンド化」というキーワードは、本市においても重
要な視点である。

広島県東広島市は、公的な産業団地が19カ
所あるが、すべて完売となっている。交通の利便性、
インフラ整備状況、用地取得の容易性、収支、経
済波及効果など7つの項目を基本として産業用地
を確保している。

議会運営
委員会

岐阜県岐阜市で行われている
「子ども議会」は、議会改革とい
うより小学生のキャリア教育に重
点を置いた事業であり、参加した
小学生のその後のキャリア形成に
どう影響を及ぼすのかという視点は、本市の事業
にも必要と思われる。

岐阜県可児市(写真⑧)では、「高校生議会等」
と「ママさん議会等」の2つの地域懇談会を行っ
ている。「地域再生の二環」として議会がこの事業
を行っており、市政が市民のためであることを実
感してもらおう取り組みである。

愛知県犬山市(写真⑨)の「市民フリースピー
チ制度」は、平成30年3月定例会から始めたも
ので、市民が議場で市政に関する発言を5分以
内で議会に対し行うものである。議会や選挙への
関心を持ってもらうという点では、糸口となる取
組みである。



広島市にとって大切な太田川放水路



視覚障害について理解を
広める取り組み(加東市)



平和記念史料館で
被爆体験講話を聞く(広島市)



現在でも復興工事が行われている
土砂災害現場(広島市)



橋脚ごと流された現場(広島市)



模擬選挙のためのポスター(可児市)



「市民フリースピーチ制度」
について説明を受ける

委員会と視察日	視察地	目的
産業建設常任委員会 (10月9日~11日)	広島県 広島市 (国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所)	「太田川放水路事業」「広島土砂災害、西日本豪雨等の被災地視察」につ いて
	広島県江田島市	「オープンブランド化」「空き家バンク」「おためし暮らし制度」等について
	広島県東広島市	「産学金官連携の取り組み」「産業用地の確保」等について
議会運営委員会 (10月28日~30日)	岐阜県岐阜市	「子ども議会」について
	岐阜県可児市	「議会改革(地域課題懇談会)」について
	愛知県犬山市	「市民フリースピーチ制度」について

議会運営委員会は、円滑な議会の運営を図るため、議会運営全般について協議・審査をし、
意見調整などを行います。委員の任期は2年、定数は8人以内です。(現在は7人)



原爆の惨劇を伝える原爆ドーム(広島市)

委員会と視察日	視察地	目的
総務文教常任委員会 (10月7日~9日)	大阪府大阪市 (NPO法人こどもの里)	「子育て支援事業」について
	広島県広島市 (広島平和記念資料館)	「広島平和記念式典派遣事業関連施設を中心とした視察」について
	広島県呉市	「ゆめづくり地域協働プログラム事業」について
市民厚生常任委員会 (10月8日~10日)	兵庫県加東市	「手話言語条例に基づく取り組み」について
	京都府亀岡市	「マイナンバーカードの普及促進・活用の取り組み」について
	京都府京都市(風伝館)	「リサイクル事業、環境問題等に関する取り組み」について
	大阪府松原市	「ふれあい収集(ごみ出し支援)事業」について

燕市議会には、総務文教(7人)・市民厚生(7人)・産業建設(6人)の3つの常任委員会があり、委員の任期2年です。
本会議で提出された議案や請願は、担当(所管)する委員会で詳しく審査します。